

令和8年度 第2回 学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和8年8月17日（月）10：00 ～ 12：00
2. 場 所 神戸市立科学技術高等学校 応接室 及び 学校見学
3. 内 容 ◎司会進行：協議会委員（池内洋一 様）

オープンハイスクール及び施設の見学
会長挨拶・校長挨拶・新委員紹介
学校からの説明（授業アンケート・K-SMART事業検討会）

（1）会長：永井千秋 様よりあいさつ

永井会長 様：機械工学科出身で昔ながらの作業と現代のICT機器が結びついて、完璧なものになっている。それを扱うための教員の努力を感じる。

（2）校長あいさつ

森田 校長：新たに1名地域代表として参加いただいた大石和広さまの紹介。
現代の工業高校は手先の器用な生徒だけでなく、課題解決力など様々な能力を養うことができる学校になっている。総合教育会議の中で市立高等学校のさらなる特色化が議題に挙げられている。入試倍率では市立高校全全日制5校はすべて充足している。特に、県下の工業科において科学技術高校は、高い倍率を維持できている。

（3）新委員の大石さまより自己紹介

大石 様：清風公民会官庁である。施設見学をしたが、魅力あるエンジニアを発出しておりますが、これだけの設備や技術力を持っていることを知らなかったのも、もっと地域にアピールして、地域からも愛される学校を目指していきたい。

（4）学校からの説明

①授業アンケート結果の報告（教頭）

住谷教頭：おおむね良好である。数学に関する苦手意識があることがわかった。改めて、12月。2月にもまとめたものをご提示します。

②K-SMART事業検討会（教頭）

教頭：7月に事業方針の検討会をおこなった（別紙参照）
すべての科に共通して言えるデジタルの使用が工業の中で不可欠なものになってきている。科を越えた学びということで、企業からドローンの技術を学ぶ機会があった。また情報リテラシー教育を全校生徒に提供し、経験させた。これからの工業教育に必要な分野の企業を招きながら今後も実施していく。全校生徒への提供は時間割調整などが非常に難しくなっており、そこが今後の課題である。

③その他

教頭：

① 地域貢献の取り組みについて

・車いすを修理して、発展途上国に送っていたが、あらためて足元である地域に目を向けて、福祉施設等にある車いすの修理点検などの事業を進めている。この夏も、生徒が福祉施設に出向いて修理点検を行った。

・夏まつりにジオラマで治水災害の説明を行う予定である。

このように、地域から依頼を受ければ生徒の学びを発表していけるように準備していく。

② 学校公開日について

・1回目が非常に好評だったので、次回第2回を実施していくことを検討している。次回は地域の方々も招いて実施していこうと考えている。そのことについて承認いただきたい。

全員承認。

【質問・ご要望】

永井 様：それぞれの整理整頓まできっちり生徒、教員がされていることはわかりました。しかし、万が一事故があった場合の安全上の問題はないのか。（外での学習も多いという観点で）

【回答】

教頭：6Sという教育をおこなっており、安全安心に関しては日ごろから心がけ指導をおこなっている。けがの起こる場面として、実習等の授業は意外と少ない、むしろ部活動の中でのけがが多い。課題研究の中では、郊外へ学習しに行く機会が多いが、保護者の同意や、管理職への連絡などはきっちりと行っている。

校長：教員は心肺蘇生とAEDの使用研修は受けている。AEDは2個設備している。また、救急対応カードも校舎内の各所に設置している。救急搬送された場合は、危機管理室から消防局に連絡があり、委員会に連絡がはいる。学校としても、担当教員から管理職にすぐに連絡している。そのうえで、教頭から委員会に連絡を入れている。神戸市全体で安心安全を考えている。

※6Sの資料をいただければありがたい（池内様）

（5）オブザーバーより（西川 様）

西川 様：生徒とコミュニケーションをとりながら、生徒の安全に配慮いただければと思います。技術を磨くだけでなく、説明できる技術、外国人からも学べる力などが必要である。コミュニケーション能力を上げる機会を設けてあげてください。

（6）諸連絡・その他（教頭）

教頭：次回の予定を確認。11月下旬から12月の予定を検討したい。

（7）副会長あいさつ（副会長：鍋澤 様）

鍋澤 様：副会長の玉垣 様の代わりにあいさつ。オープンハイスクールに過去に参加したことがある。施設見学をして学校の良さを改めて感じている。育友会への参加率も非常に高く、学校に魅力を感じている。

（8）生徒会を招いてお互いに自己紹介を行い、学校運営委員会の意図を説明する。